

オアシス・オブ・ザ・シーズの 1 週間カリブ海クルーズ (その 3)

2024-3-29 事務局長 池田良穂

「オアシス・オブ・ザ・シーズ」の最後の寄港地はジャマイカのフォルマウスでした。筆者の、これまでのカリブ海クルーズでのジャマイカ寄港は、モンテゴベイかオチョリオスでしたが、フォルマウスは、この2つの町の間にあります。2隻の大型クルーズ客船が同時着岸できる岸壁が整備され、港の中に大規模なショッピング施設が整備されていました。しかし、その門の外に広がる町は貧しく、怪しげな客引きが多い場所でしたので、すぐに港の近くの商業施設に戻りました。外の観光をするのであれば、船主催のオプションツアーに参加するのが無難のようです。



フォルマウスには「インディペンデンス・オブ・ザ・シーズ」が先に着岸していました。



港にはクルーズ客向けの宝石店、土産物店、レストラン等が立ち並ぶ商業施設が造られていました。



カリブ海の島々はマリンスポーツの他には観光資源はあまりなく、下船せずに船上で過ごす人も少なくありません。その分、船上の設備、イベントが充実するというカリブ海独特のクルーズが成長したとも言えます。それを先導したのがロイヤル・カリビアンであり、「オアシス」は、そうしたクルーズ客船の1つの集大成とも言える船です。2009年に建造されて、その後、姉妹船が造り続けられているのを見て、この見方が正しいように思います。「オアシス」の船内の廊下に、これまでのロイヤル・カリビアン船のイノベーションが写真で紹介されていました。



- スタジオ B(アイススケート) —ボーイズ・クラス
- フローライダー —フリーダム・クラス
- セントラルパーク —オアシス・クラス
- カンチレバー・ジャグジー —フリーダム・クラス
- カローセル —オアシス・クラス
- アクアシアター —オアシス・クラス
- ウインドジャマー —ソブリン・クラス
- ボクシングリング —フリーダム・クラス



- ロッククライミング・ウォール —ボーイジャー・クラス
- ソラリウム —ビジョン・クラス
- ボードウォーク —オアシス・クラス
- ジップライン —オアシス・クラス
- バイキングクラウン —ソング・オブ・ノルウェー
- ミニチュアゴルフ —ビジョン・クラス
- セントラム —ソブリン・クラス
- ロイヤルプロムナード —ボーイジャー・クラス
- H2O —フリーダム・クラス
- ガラス・ブリッジ —フリーダム・クラス



オアシス・オブ・ザ・シーズのセントラルパーク。本物の木々が植えられ、小鳥も住んでいる。セントラルパーク側にはベランダ付きの内側キャビンが並ぶ。

大型化によって規模の経済効果を上げて料金のリーズナブルプライスを実現すると共に、船上での楽しみの多様性を大きく広げて顧客層を広げてきたのが、ロイヤル・カリビアンの特徴と言え、以前お会いしたフェイン会長は「RCIの遺伝子にはイノベーションが組み込まれている」と言っていました。今回のクルーズでも、小さな子供連れの乗客も多く、三世代で乗船している家族も多く見かけました。

オアシス・クラスとクワンタム・クラスの船名と就航年を以下に挙げておきます。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1.Oasis of the Seas (2009) | |
| 2.Allure of the Seas (2010) | 1. Quantum of the seas(2014) |
| 3.Harmony of the Seas (2016) | 2. Anthem of the Seas(2015) |
| 4.Symphony of the Seas (2018) | 3. Ovation of the Seas(2016) |
| 5.Wonder of the Seas (2021) | 4. Spectrum of the Seas(2019) |
| 6. Utopia of the Seas (2024) | 5. Odyssey of the Seas(2021) |

同社の経営上の大きな特徴は、このオアシス・クラスの建造と並行して17万総トンのクワンタム・クラスの連続建造も始めていることです。クワンタムはアジアおよび欧州をターゲットとして建造が始まったシリーズで、アメリカ市場をターゲットとしたオアシス

とは一線を画したコンセプトのように思います。筆者は、最近はクアンタム・クラスに多く乗船していますが、久々にオアシス・クラスに乗船して、両タイプの違いと同時に共通する所も実感することができました。クアンタム・クラスの5隻目の「オデッセイ」がカリブ海に投入されていることを考えると、アメリカ人好みとアジア・欧州人好みというわけでもなさそうです。



オアシス・オブ・ザ・シーズ



クアンタム・クラスの第4船「スペクトラム・オブ・ザ・シーズ」

さて、アメリカ水域に就航するクルーズ客船では、大規模なショーが売り物の一つと言えます。しかし、ショーの中にはトークやコメディなど、言葉が分からないと楽しめない出し物も少なくありません。その点、「オアシス」はショーを行う施設が、シアター、スタジオB(アイスショー等)、野外劇場(アクアショー)の3つがあるために、どこかで言葉が分からなくても楽しめるショーが見られるのが嬉しいところです。もちろん、いろいろな場所でピアノやバンドが生演奏しているので好みの音楽を楽しめます。

今回のクルーズでは、まだアイスショーは見えていませんが、クルーズ中すべての公演がフルブッキングの状態です。最後の2日間の航海日には、並んで会場入りして見てみたいと思っています。



野外劇場(アクアシアター)でのショー。予約が必要ですが、スマホのアプリから簡単に予約ができました。予約がとれなくても、開場の 15 分前からは予約のない人も会場に入って席を探すことができます。中には、キャビンのベランダから見ている人もたくさんいました。



アクアシアターの様子。



シアターで行われたミュージカル「キャッツ」です。1時間半の熱演でした。